

CAF G5: OSK 55DB130 画像記録式 石炭・灰 熔融試験炉(全自動)

石炭、灰の溶解試験用にデザインされた電気炉です。オプションとしてバイオマス・焼成バイオマス試験にも対応可能です。

準拠規格

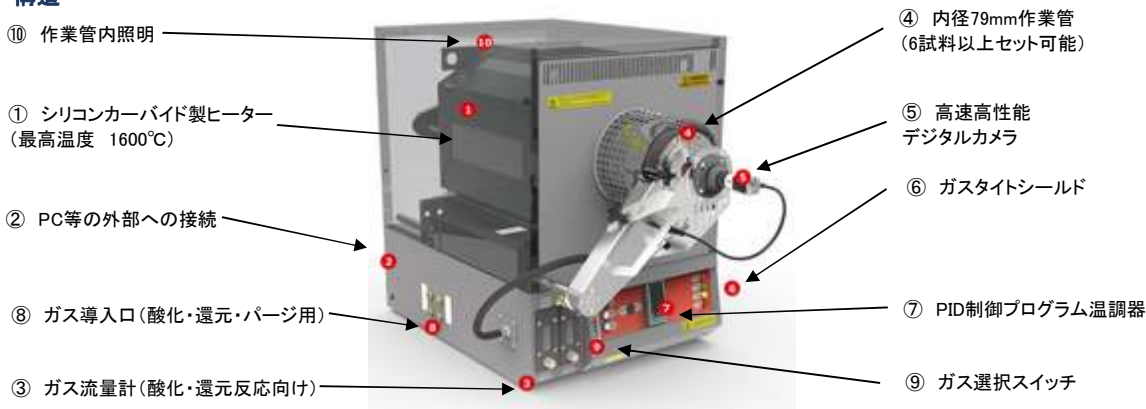
ISO 540:2008;
DIN 51730:2007-09;
PD CEN/TR 15404:2010 (solid recovered fuels (SRF))
ASTM D 1857 / D1857M - 04 (2010);
DD CEN/TS 15370-1:2006 (バイオマス)、



特徴

- 分析用ソフトウェアは、全自動、またはマニュアルモードで使用可能
- ソフトウェアによる拡大表示機能より、試験後の個々の試料結果についての詳細な分析を可能
- 各試験片が個別に分析可能
- 温調器のプログラムは、ソフトウェアで設定可能
- 初期変形が低温で発生するバイオマス・焼成バイオマスの試験用として、照明付き作業管
- 軽量インシュレーションにより、早い冷却が可能となり、全体の試験時間を短縮

構造



仕様

モデル	CAF G5
最高温度(°C)	1600°C
温度精度	±3°C (800°C以上の条件下において)
昇温速度	7°C/分
温度コントロール	デジタルマルチPID制御 (スケジュール&オフセット機能付)
作業管	内径79mm、ムライト製
ヒーター	シリコンカーバイド製 x 6本
石炭燃焼熔融試験	自動 or 手動 (石炭 & コークス: DT, ST, H, FT) (バイオマス / 焼成バイオマス: IST, DT, HT, FT)
分析時間	3回/日 (冷却時間による)
画像取得	1デジタル画像/°C
解像度	1280 x 1024 ピクセル
ガス条件: パージ	N2 or CO2
ガス条件: 酸化	O2 or 大気
ガス条件: 還元	CO + CO2 or H2 + CO2
換気	強制排気
安全性	ガス安全システム (一酸化炭素警報付)
外寸法	W505 x D765 (全体 970) x 高さ 790mm
重量	84kg
電源	AC220-240V, 単相 50A

- 1) 保持電力は無試料で240Vの電源を使用し、常用最高温度で測定した際の数値です。
- 2) 昇温時間は無試料で常用最高温度まで昇温した際の数値です。

本内容は予告なく変更となる事がございます。

2019.11

OSK オガワ精機株式会社

<https://ogawaseiki.info/>

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-2-9
TEL : 03-3200-0234, FAX : 03-3200-0373
osk.domestic2@dune.ocn.ne.jp